

よこはまユースレター

発行／公益財団法人よこはまユース
tel.045-662-3716 fax.045-664-6254
URL <http://www.yokohama-youth.jp/>
Eメール soumu@yokohama-youth.jp

体験！ボランティア活動 社会教育実習・高校生インターンシップ

今夏多くの青少年が法人が運営する青少年施設や事業にボランティア、実習生として関わり、多くの子どもたちを笑顔にしてくれました。そして彼ら自身も感動したり、悩んだり、自分の意外な一面を発見したり、いろいろな体験をしたようです。ほんの一部ですが、青少年の声をご紹介します。

▲放課後キッズクラブ ボランティア研修（秋葉小キッズで）
「実習が終わると寂しくなった。子どもが好きな自分を再認識した」という高校1年の熊坂妃世さん。

青少年交流センター3階 青少年の ものづくり、創作、表現活動スペースに！ 陶芸窯も登場！ 10/5 オープン！

ダンス・演劇・ワークショップ等ができる「イベントスペース」や陶芸用電気窯を設置した「陶芸ルーム」、工作や美術ができる「ものづくりルーム」など。

プレオープンイベント 「みんな de アート！」

(7月 26日)

巨大な白い布をキャンバスに自由にエネルギーいっぱいに描いた絵はどれも個性豊か。



高校生水源林保全ボランティア

高校生 33人が横浜市水道局の管理する道志村水源林の間伐を体験。

◆何かボランティアをしてみたくて参加しました。木を一本、のこぎりで切るのはとても疲れただけ、インストラクターから切り方を褒められてうれしかったです。



青少年交流センター 夏期青年ボランティア

きっかけは学校の単位を取得するためだったという高校2年の佐野真菜さん。

◆昨年も参加。活動前はボランティアに堅苦しいイメージを持っていたけど、子どもたちと一緒に遊んでいるうちに楽しいイメージに変わりました。



高校生インターンシップ～桟井小放課後キッズクラブ

小学校教員を目指す横浜立野高校3年の2人が、遊びや学習サポート、施設遊具の安全点検、おやつ配膳など



指導員の仕事を体験しました。

◆緊張したけれど自分から話しかかれられるようになりました。普段、小学生と接する機会がなかったので貴重な体験ができてよかったです。

社会教育実習（社会教育主事講習）～青少年交流センター

駒澤大学の廣部千晴さんが実習。

◆施設スタッフはもっと事務的な仕事をしているのかと思っていたのですが、子どもとの関わりを大切にしていて『近所の大人』みたいな身近な存在だと感じました。



野島青少年研修センター 「のじま自然体験プログラム」

野島青少年研修センターでは、一年を通じて「のじま自然体験プログラム」を実施しています。

波の穏やかな野島海岸や平潟湾での「カヌー体験」や「イカダ作り体験」、岩場や砂浜での「生き物観察」や「環境調査」、野島山での「化石探検・レプリカ作り」、野島特産物の「海苔作り体験」など、それぞれのプログラムをとおして、自然に触れ、四季折々の野島を感じることができます。

これらのプログラムは、小学校の体験学習だけではなく、すべての利用団体の皆さんも参加できます。ぜひご活用ください。

*この他の活動プログラムについてもお気軽にご相談ください。



●カヌー・イカダ作り体験
カヌーを漕いで海から野島を散策してみましょう。
ライフジャケットの貸し出しや操作指導もありますので、初心者や小学生の方でも安心して楽しむことができます。



●化石探検・レプリカ作り
野島山の地層からは、貝の化石が多數見つかっています。
地層を観察したり、石こうや低温融解樹脂を使った化石レプリカ作りが体験できます。



●生き物観察
市内唯一の自然海浜に住む、多くの生き物観察ができます。
自然観察セット（魚網、観察ケース、カニかご、くま手など）を貸し出しています。



活動レポート

○ よこはまユース（本部事業）

はまつ子どもしキャンプ 2013 (7月27～28日)
自然の中で思いっきり活動し、水源地・道志村に親しんでもらいたいと企画した山梨県道志村でのキャンプには、小学4年生から6年生の児童30人と高校生を中心とした青年ボランティア、スタッフを含む総勢62人が参加。横浜市水源林管理所の協力で源流の森散策をはじめ、間伐材を使った木工工作、薪での夕食作り、キャンプファイヤー、清流での川遊びなど、自然の中でゆったり過ごし、楽しい思い出ができた2日間でした。

◆参加者の声

「友だちがいっぱいできた」「川遊びは冷たかったけど楽しかった」「来年も参加したい」



○ 放課後キッズクラブ

合掌して「ナマステ」の一言からスタート — 秋葉小・南瀬谷小・岡村小放課後キッズクラブ (7月13日)

学生国際ボランティア団体 RUKE の企画で実現した「ネパール交流プログラム」。在日ネパール人のラジーブさんが最初に教えてくれたのは「こんにちは」「さようなら」…、いろんな場面で使える便利な挨拶「ナマステ」でした。「ネパールの川にはイルカがいるんですよ」。「え～っ?!」。ネパールの自然や文化を学んだ後、自分の夢を絵にしました。その絵は学生に託し現地の子どもたちに届けられます。帰国した RUKE の「夢交換」報告会が楽しみ！



青少年育成寄附金募集事業

第53回 爆笑！濱っ子寄席

出演は『花のお江戸三人衆』立川志らく師匠、三遊亭歌之介師匠、柳家喬太郎師匠ほか。皆さまお誘いあわせのうえご来場ください。

◆日 時／平成25年11月15日(金)

開演18時～21時<予定>

◆会 場／関内ホール 大ホール

◆チケット／S席3,000円

A席2,500円 ※全席指定

10月1日(火)10時電話予約開始！

◆受付時間／月～土曜日 10時～21時

*休館日10/7(月)・11/11(月)を除く

【お問合せ・ご予約】 tel. 045-662-3716

○ 横浜市青少年育成センター

子どもアドベンチャー 2013 プログラム

「きずな★夏祭り～町内会祭りの裏側をウォッチング！～」

(横浜市町内会連合会・横浜市市民局と共に8月20・21日)

お祭りの屋台や防犯教室、缶バッジ作りを体験し、子どもたちに町内会の活動や地域のきずなを知ってもらおうという夏休みにふさわしいにぎやかなイベント。両日とも予想を超える来場者(延べ931人)があり、学生ボランティアも大活躍でした。



○ 横浜市青少年交流センター

◆@樂祭（アットガクサイ）

(7月7日)

センター利用者が日頃の練習成果をステージで発表するイベント、それが「@樂祭」です。出演者は小学生から大人まで幅広く、アットホームで多種多様なステージは、「ふり一ふらっと野毛山」ならではのイベントです。

(出演者41人・来場者101人)

◆参加者の声

「他の出演者との交流が楽しい」「ずっと存続を」



平成25年4月1日から平成25年7月31日まで

◆ユース賛助会費	100件	398,000円
◆特定寄附金	合計 52件	81,000円
わくわく・生活体験プロジェクト		27,000円
野島クリスマスキャンプ		25,000円
ハートフルスペース		29,000円
◆一般寄附金	10件	20,062円

寄附金協力者 (日付順、敬称略)

【団体名】 市立豊田小学校PTA／青山愛後援会「あいの会」／株式会社チアーズ／西区ジュニアリーダースクーブ／西区子ども会育成連絡協議会／第一カーボン株式会社／尚花愛児園／横浜南部食糧販売協同組合／横浜市PTA連絡協議会／旭区子ども会育成連絡協議会／横浜市フォーカダンス協会／中区野球協会／有限会社温怜堂／中川印刷株式会社／協栄会／古典研究会／株式会社サンセルフ／泉区青少年指導員協議会／有限会社村栄商店

【個人名】 中村 照代／岳野 万里夫／玉井 廣道／吉村 輝男／深井 植男／益田 和昌／白石 孝徳／新井 春海／合田 加奈子／中谷 忠宏／大石 俊雄／大向 哲夫／清水 桂子／五木田 涼子／倉澤 達雄／岡部 サチ子／村山 雅之／福島 京子／安部 萬里子／板垣 憲明／橋本 康正／宮之原 隆雄／葛野 泰男／芦立 正子／沖津 淑子／野並 直文／日比野 政芳／熊井 憲一／田上 恒孝／斎藤 伸夫／市原 政喜／池田 耕三／鹿島 富美雄／岡部 俊行／斎藤 緑／手塚 潤悟／岩倉 憲男／濱倉 公子／大槻 哲夫／野村 啓子／舟田 英一／荒井 純平／安島 新一／林 由美子／泉妻 輝夫／竹内 晓／荒巻 喜代子／荒井 清／安部 きみ子／大久保 则子／稻垣 公明／雲井 耀一／三橋 ツネ／鈴木 正之／内野 貴彦／吉原 明子／眞鍋 明文／平野 嘉昭／荒巻 芳幸／阿部 和泉／関根 利和／青山 幸一／関根 ユキエ／澤出 吉秀／奈良 仁／吉井 勤／渡邊 誠／青柳 八重子／乾 英昭／田島 一郎／高橋 恭子／飯田 正明／久田 邦明／黒川 靖久／下野坊 和子／安田 修二／瀧波 磨理江／他7件

【募金箱設置協力者】 松本研事務所

●編集後記 ●

夏休みが終わり、多くの青少年向け事業を実施しました。職員は上半期事業評価の準備に取組んでいます。「第53回爆笑！濱っ子寄席」は大詰めに入り鋭意準備中。皆さまのお越しをお待ちしています。